

令和3年度

幼稚園だより 5月号



文京区立千駄木幼稚園

五月晴れの下で

園長 渡邊 典子

ツツジが咲き、モミジやイチョウの葉が日増しに大きくなって戸外で遊ぶには心地よい季節になりました。3歳児も砂場やチャレンジ広場の滑り台、花や実を拾ったりアリアやダンゴムシを見つけて喜んだりするなど園庭で遊び始めました。カラー帽子を被ることや靴を履き替えることも外で遊びたい気持ちが勝るのでしょうか、自分で何とかしようと頑張ったり先生に手伝ってもらったりしながら行っています。この1か月の成長は驚くほどです。

この時期園庭にこいのぼりを飾ります。こいのぼりは江戸時代中期の江戸の武家で始まった風習のようですが、近年の都会においては幼稚園だけの文化になってきているのかもしれませんが。子どもたちが健やかに成長してほしいという願いは昔も今も同じです。そして幼稚園では子どもたちはこいのぼりを作っています。

3歳児は、魚の形にシールを貼って作ることにすると、たくさん貼る子、一色を選んで貼る子、形を構成して貼る子などいろいろです。こいのぼりが完成して嬉しそうに持ち歩いているAちゃんに「素敵なこいのぼりができたね」と声を掛けると、僕も私もと、BちゃんもCちゃんも見せてくれました。作る楽しさ、出来上がった嬉しさを経験しています。

4歳児は、目、○△□の形を糊で貼って作ります。糊の経験をしてきているので上手に模様にしていく子、黙々と集中して作る子、「明日作るから」と自分なりに見通しをもって取り組もうとする子など取り組み方は様々です。大事なこいのぼりを毎日背中に入れて、持ち歩いて遊ぶDちゃんは、まるで忍者のようです。

5歳児は、協同的な活動の始めとして2～5人の友達と相談のポイントを示した表を基に、こいのぼりやうろこの色、うろこの形、貼り方を決めます。相談に難航するグループには担任が入り、二色の胴体にする提案をすと「それがいい」と納得をして取り組むことができました。3・4歳児も色とりどりのこいのぼりを見て、「いっぱいいるね」「ピンクのがかわいい」と、元気パワーをもらっているようです。

容器やビニール袋をもって探索している子どもたちの中で、エノキの小さな緑の実を踏むと「プチッと音がする」ということが5歳児から4歳児、3歳児へと伝わり、実集めが広がっています。園庭では乗り物で遊んだり転がしドッジをしたり、家や基地をつくって遊んだり登り棒をしたり、屋上でも5歳児が鬼遊びや折り返しリレーをするなど元気に遊んでいます。お日様の光には骨の健康を保つ効果や脳内のセラトニンを増やして精神を安定させる「幸せホルモン」の効果があるそうです。五月晴れの日、積極的に戸外で遊ぶ機会を設けていきたいと思えます。

再び緊急事態宣言が発出され、ゴールデンウィーク期間も外出の自粛が求められています。また、そのことを受けて文京区教育委員会からも、改めて対応の仕方が通知されています。幼稚園では子どもたちが伸び伸びと体を動かし心を弾ませて遊べる場であるように、行事等の変更をさせていただきます。皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



花を摘んだりアリアを見ついたりする3歳児



4・5歳児のこいのぼり作り



園庭で遊ぶ子どもたち